

令和2年度学校説明会校長あいさつ（令和2年10月10日）

岡山朝日高校の学校説明会にご参加いただきありがとうございます。

昨年度終わりから新型コロナウイルスと戦うために、やむを得ず、当たり前と考えていた教育活動が制限される状況があります。中学生の皆さんも、不安やストレスを感じていることと思います。この説明会では、そのような中学生や保護者の皆さんに本校のことを知っていただき、少しでも高校入試についての不安が解消できればと考えています。

本日の配布資料には、今日参加の皆さんを想像しながら作成した「校長あいさつ」を掲載しています。また、あいさつで取り上げた本校に係る事項を「参考資料」として解説しています。

ここでは、掲載しているあいさつ文の背景となる、校長としての考えについてお話をします。

私は、高等学校の役割は、生徒一人ひとりの学力と人間力を最大限伸ばすことを助けることにあると考えています。このことを実現するために、本校の教育指導には二つのものが必要であると思います。

一つは、「強さ」であり、もう一つは、「柔軟さ」です。前者を自主自律と、後者を自重互敬と表現することができるかもしれません。特に、後者は「自分自身を大切にすること」に繋がるものであり、皆さん一人ひとりが今ここにいること自体が奇跡であり、かけがえのない大切なことであることを前提としています。自分自身を大切にすることが、「一人ひとりのよさ」を認めることにも繋がると思います。

本校は、これまで強さを強調するメッセージを前面に出してきたし、今日の会でも、そのような説明が多くなります。しかし、強さとともに柔軟さも併せ持っている学校です。

例えば、勉強することだけを求めている学校ではありません。部活動や生徒会活動、学校行事、クラスの楽しい活動等高校生としての価値ある様々な体験を大切にしている学校です。

友人も切磋琢磨するだけの存在ではなく、「ほっと」しあえる存在でもあります。

また、先生は、生徒に強い意志と高い志を求めますが、一方では、朝日の生徒が苦手な躰きやすい教科書の例題解説動画をオンデマンドにアップしています。今日も17講座実施していますが、希望者が集う土曜活用講座では、ハイレベル講座だけでなく基礎的な講座を設定し生徒の弱点克服を応援しています。質問に来た生徒には、とことん付き合い一緒に考えています。朝日の生徒一人ひとりを成長させることに一生懸命です。

中学校3年生の皆さんと、来年度この朝日高校でお会いし、皆さんと共に「記憶に残る」高校生活を送ることを楽しみにしています。

（岡山県立岡山朝日高等学校 校長 竹田義宣）